

自立支援計画について

竹寮長 田代 充生

おおいそ学園では、入所して課長面接を実施し、入所3か月以内に寮の主担当や副担当が主体となって、心理士、家族支援員や分校の先生、児童相談所と十分に情報交換をして、自立支援計画を作成しています。作成した自立支援計画は、児童相談所に送付しています。自立支援計画では、入所に至った児童の課題に対してどのようにアプローチして解決していくのかを記載し、関係機関の方や保護者の方と連携して課題解決していくことを目指しています。

もちろん児童自身も自分の課題を意識することがとても重要なので、竹寮においては「課題解決ワークシート」を作成しています。これは1週間の始めに、自分の入所に至った課題に対して具体的にどのような取り組みを行うのか目標を記載し、毎晩その取り組みの結果を児童自身に記入してもらっています。また、自己肯定感を高めるため、自分の長所や成長していることに気づいてもらうことを目的に、「マイチャレンジ」も作成しています。日々の生活の中で、自分が気付くことが出来ない場合は、職員から児童が上手くいっていることを捉えて「あなたはこんなことが上手くいっている」と気づきをさせる場面も積極的に作るようにしています。

自立支援計画は、策定後3か月以内に寮職員、心理士、家族支援員や分校の先生、児童相談所と評価を行っています。そして計画に変更がなければ、その評価を児童相談所に送付しています。

児童自身が課題を意識して自発的に解決し、同じような問題を繰り返し起こさない様にこれからも私たち職員が一丸となって支援していきたいと考えています。皆様も是非、自立支援計画の内容を確認してもらい、今計画がどのように進捗しているのか確認して頂き、児童に対してコメントして頂けると有り難いです。



生沢分校通信

【運動会】

今年度も紅白対抗の運動会を開催することができました。

練習期間から天候に恵まれ、子どもも大人もたくさん汗をかきながら、連日練習を行うことができました。迎えた当日、子どもたちの堂々とした入場行進から運動会が始まり、紅白代表の選手宣誓は、とてもはつらつとしたもので大きく成長したことを感じました。

種目が始まると、どの子もチームのために一生懸命に走ったり、跳んだりしていました。

今年度もまだ、来場者数の制限はあるもの、保護者の方や関係者の方も熱い声援を送っていただきました。

閉会式では、子どもたちが来場された方に大きな声で感謝のあいさつをする場面がありました。指導された訳ではなく、自然に言えたことは、ここまでの子どもの大きな成長かと感じました。(分校 小森)

【修学旅行(小学部、中学3年生)】

小学部と中学3年生は、修学旅行として富士急ハイランドに行きました。

当日までの準備では、乗りたいアトラクションを伝え合い、回る順番を決めました。皆で園内マップを見ながら、想像を膨らませ、楽しそうに計画する姿が見られました。

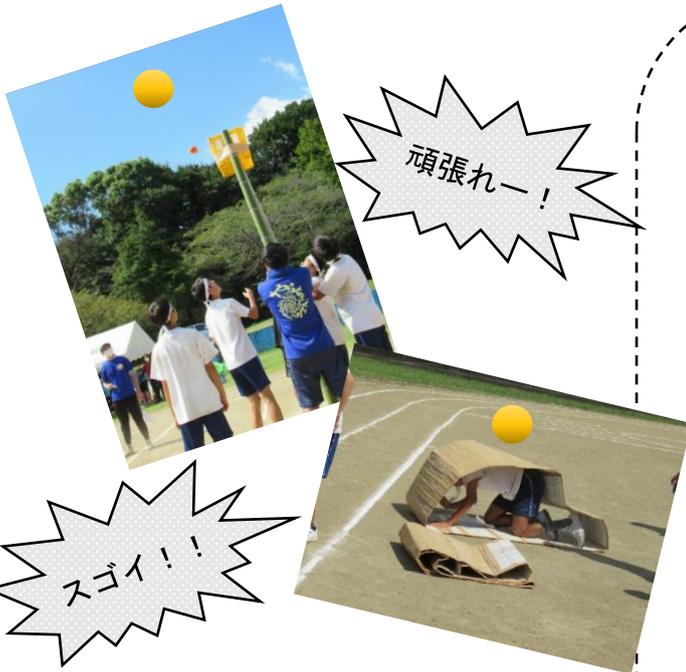
当日は生憎の天候で、雨の中での活動になってしまいましたが、できるものを目一杯楽しもうと時間内ギリギリまでアトラクションを楽しみました。絶叫系が得意な子はもちろん、そうでない子も大満足な一日となりました。

富士急ハイランドという非日常の中で子ども達はさらに仲を深め、楽しい思い出を作ることができたようです。

(分校 長谷川)

分校小話

現在、校舎に空調設備設置の工事をしているため、2クラス合同での授業が行われています。時には大きな音が出ている中での授業ですが、皆一生懸命勉強しています。



【秋の遠足】

10月6日(木)、中学1・2年生は、秋の遠足として、八景島シーパラダイスに行きました。事前学習では、当日のルートや食事、お土産等を決めました。どの生徒も、班で話し合いながら、雰囲気良く参加することができました。

当日は、あいにくの雨でした。予定していたアトラクションが運休していたこともありましたが、その場で臨機応変に動き、全員で楽しむことができました。お土産購入の際は、自分だけでなく、普段お世話になっている職員さんへお土産を買う生徒もいて、感心しました。

今回の遠足では、公共交通機関でのマナーも素晴らしく、一人一人の成長を感じる遠足となりました。(分校 細川)

楽しみにしてたんだよね!



おおいそ学園通信

駅伝大会 選手宣誓 (11月12日) 陸上部キャプテンが大役を担ってくれました!

梅寮 H 君 「3年ぶりにこどもの国で児童福祉施設駅伝大会に参加できることに心から感謝いたします。今大会にはたくさんの方々の協力があり、いま私たちはこの舞台に立つことができます。」

他施設児童 「私たちは今日のために一生懸命練習に励んできました。私たちを日頃から支えて下さるたくさんの方々に感謝の気持ちをこめ、最後まで正々堂々と競技することを誓います。」

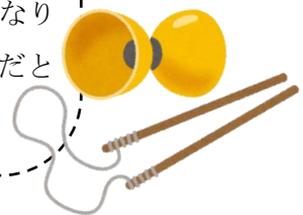
実りの秋の野球大会 (11月19日)

新型コロナウイルスの影響で一昨年から収穫祭が開催できず、今年も中止となりました。昨年まではディアボロ発表会でしたが、今年は野球大会を開催いたしました。野球部の活動としては8月で終了しており、当日までほぼ練習する機会はありませんでしたが、全部活動共通して掲げている「あいさつ・礼儀・マナー」を大切に、かつ楽しむことをテーマとして行いました。試合は1時間というわずかな時間で、十分に楽しむことは難しかったとは思いますが、全体を通して充実した時間を過ごせたのではないかと感じています。また、来園して下さった方々に一人ひとりの成長を感じてもらえていたら幸いです。(野球部監督 田中)



関東少年文化祭 (11月25日)

今年度の文化祭の芸能発表は、例年通りのディアボロを行いました。昨年度の文化祭の時期からディアボロを経験している児童も多く、個人技の披露する場を多く作ることができました。しかし、発表時間に限りがあり、ミスができない状況がありました。その緊張感のなかでの全体練習は、ミスを頻発してしまうことが多かったです。また、全体練習自体が、例年より大幅に少ないことも影響しており、発表の完成が本番ギリギリになってしまいました。当日の舞台も不安が残る中、おおいそ学園の発表は、今までで最も失敗の少ない、所作もとても良い発表となりました。この結果を残せたのも、児童たちが普段の生活の中で努力を積み重ねていた成果だと思います。(担当者 服部)



関東少年卓球大会 (12月2日)

3年ぶりの関東少年卓球大会、さらにおおいそ学園が主催ということで子どもも職員もより一層気合が入った大会となりました。結果は団体戦3位、個人戦でも入賞する子どももいました。おおいそ学園で学んだ礼儀やマナーを最後まで意識して行動することが出来ており、改めて児童たちの成長を見ることができたと嬉しく思いました。また、来年度の大会で児童たちが更に成長しているのを見たい!と密かに楽しみにしています。(卓球部監督 古川)



【クラブ活動報告】

おおいそ学園通信

～陸上部～

陸上部です！「走る」ことは単調な運動です。それゆえに奥が深く、身体能力、忍耐力を必要とします。部活動を通して、走ることが好きな児童はより一層好きになってもらい、嫌いな児童には少しでも走る楽しさを感じてもらいたいです。

今年度の大会への参画としては、「児童福祉施設駅伝大会」、「園内駅伝大会」、「卒業生送別マラソン大会」を予定しています。学齢期の基礎体力づくりのため、1月まで活動が続きます。

(陸上部部長 松尾)



～卓球部～

9月の園内水泳大会が終了したのを皮切りに、卓球部の活動がスタートしました。児童には部活動の取り組み方や方針等を紙面にして説明を行いました。子ども達には卓球の技術だけでなく、礼儀、挨拶、マナーが大事である事を伝え、取り組んでもらっています。12月2日には当園主催による関東少年卓球大会があり、選抜メンバーに選ばれた子ども達は、大会に向け、一心不乱に練習に励んでいました。

(卓球部コーチ 松本)



行事ベストショット集



学園小話

Q、最近寮で流行っていることは？

A、 桂寮：全員ドロケイ、サッカー／竹寮：モノポリー、年末発表会の練習／梅寮：ポコペン、卓球

編集後記

依然として新型コロナウイルスの影響はありますが、少しずつできる行事も増えてきました。学園の外での活動に緊張している子どもたちは、学園の中にいるときよりも大人びた表情をしています。来年は、より多くの体験をして、さらに成長をする子どもたちに期待をしながら新年を待ちたいと思います。

皆様、よいお年を。

(広報委員会)

